

御開帳 善光寺

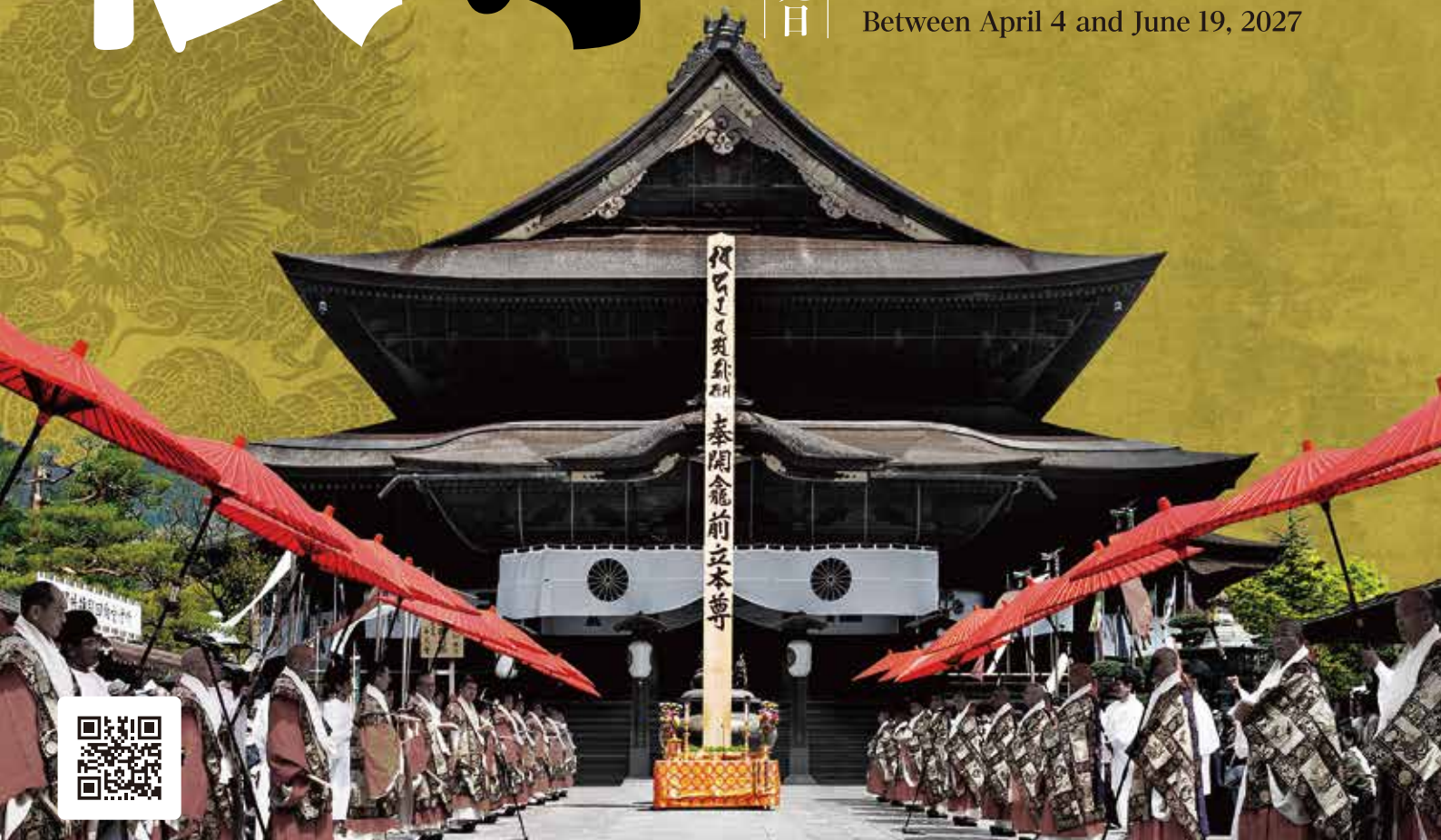
七年に一度の盛儀

令和九年四月四日～六月十九日



Zenkoji Gokaicho

A grand ceremony held every seven years
Between April 4 and June 19, 2027



善光寺御開帳奉賛会

善光寺前立本尊

善光寺の御本尊「一光三尊（いっこうさんぞん）阿弥陀如来」は、ひとつの光背の中央に阿弥陀如来、向かって右に観音菩薩、左に勢至菩薩が並ぶ、善光寺独特のお姿をされています。

白雉五（六五四）年以來の絶対秘仏であり、鎌倉時代に御本尊の御身代わりとして「前立本尊」が造られました。普段は御宝庫に安置されていますが、七年に一度の御開帳の時だけ、特別にお姿を拝むことが叶います。



本堂最奥部の瑠璃壇。

普段この瑠璃壇は戸帳が掛けられ、外から見る事ができません。

戸帳は鳳凰が描かれたものと、

龍が描かれたものの二枚で構成されています。

絶対秘仏の御本尊

「一光三尊阿弥陀如来像」は

内厨子に納められ、安置されています。



期間中の主な行事

3月	28日(日) 午後2時	本堂前	回向柱受入式	5月	5日(水祝) 午前11時30分	忠霊殿	第百五回仏都花まつり(長野市仏教会)
					8日(土) 午前11時～午後2時	本堂	中日庭儀大法要(浄土宗)
4月	2日(金) 午後2時	本堂前	回向柱建立式	6月	16日(日) 午後5時	山門	篠ノ井大獅子奉納
	3日(土) 午後3時	本堂	前立本尊御遷座式		19日(土) 午前10時～正午	本堂	結願大法要
	4日(日) 午前10時～正午	本堂	開闢大法要		20日(日) 午後1時	本堂	前立本尊御遷座式
	12日(月) 午後2時～3時30分	本堂	全国善光寺会お練り大法要				
	24日(土) 午前11時～午後2時	本堂	中日庭儀大法要(天台宗)				

※諸般の事情により、予告なく変更・中止になる場合があります。



回向柱建立式

回向柱受入式 三月二十八日(日)

御開帳期間中、本堂の前に立つ回向柱が松代から善光寺に寄進されます。

回向柱建立式 四月二日(金)

善光寺木遣りが響く中、古式ゆかしく回向柱が建立されます。

前立本尊を 御宝庫から本堂へ。

いよいよ始まる、御開帳。

前立本尊御遷座式 四月三日(土)

白装束に身を包んだ男たちが前立本尊(一光三尊阿弥陀如来)を納めた厨子を担ぎ、御宝庫から本堂へと運びます。本堂では一山住職が担ぎ、内々陣へとお遷しします。

開闢大法要 四月四日(日)

御開帳初日のお朝事で、絶対秘仏となっている御本尊の分身・前立本尊の厨子が七年ぶりに開かれ、人々のどよめきの中、ありがたいお姿を参拝者の前に現します。そして午前十時から、善光寺を護持する天台宗、浄土宗それぞれの住職による開闢大法要が営まれ、御開帳が始まります。

七年に一度、

絶対秘仏である御本尊の御身代わり

前立本尊を本堂にお迎えして行う

善光寺前立本尊御開帳。

仏都の春、

御仏とのありがたい縁が生まれます。

開闢大法要



松代から寄進される回向柱

宝永4(1707)年に現本堂が再建された際、松代藩が幕府から普請の奉行を任され、それが縁となり、回向柱は現在まで300年余にわたって松代から寄進されています。回向柱は、大名行列や姫行列とともに松代町を練り歩いた後、善光寺にやってきます。途中引き綱に触るとご利益があるといわれ、沿道にはたくさんの人がつめかけます。

柱に触れて如来さまとご縁を結ぶ

回向柱は前立本尊の御手と「善の綱」によって結ばれ、柱に触れることで如来様との結縁(けちえん)が叶います。





篠ノ井大獅子奉納

前立本尊御遷座式



仏都花まつり

中日庭儀大法要



中日庭儀大法要

ちゅうにちていぎだいほうよう
四月二十四日(土) 天台宗
五月八日(土) 浄土宗

お稚児さんを先頭に、華麗な法衣をまとった住職の行列が進み、色とりどりの散華が舞います。
天台宗、浄土宗それぞれが回向柱の前で執り行う、厳肅な中にも華やかさが漂う法要は、御開帳のハイライトです。

第百五回 仏都花まつり

ぶつとはな
五月五日(水・祝)

お釈迦様のお誕生を祝い、子どもの健やかな成長を願う「花まつり」。華やかな衣装に身を包んだお稚児さんたちのかわいらしさに、参拝者にも笑顔があふれます。

篠ノ井大獅子奉納

しののい おおじしほうのう
五月十六日(日)

長野市指定無形民俗文化財である篠ノ井地区の二体の大獅子が表参道を練り歩き、山門前で勇壮な獅子舞を披露して御開帳を盛り上げます。

結願大法要

けちがんだいほうよう
六月十九日(土)

七十七日間続いた御開帳が結願大法要をもって終わりを告げます。
そして同日午後五時、大勢の参拝者が見守る中、前立本尊の厨子の扉がゆっくりと閉じられます。

前立本尊御遷座式

まえだちほんぞんごかんざしき
六月二十日(日)

結願大法要の翌日、前立本尊は白装束の男たちが担ぐ輿にのせられ、御宝庫へお還りになります。



回向柱ライトアップ

御開帳期間中、毎日日没から午後9時まで本堂と回向柱がライトアップされます。本堂は極楽をイメージした色に照らされ、日中とは違った雰囲気の中、参拝していただけます。



御印文頂戴

善光寺の宝印を額に押された者は極楽往生が約束されるといわれています。毎年1月7日～15日に行われていますが、御開帳期間中は毎日頂戴できます。



お朝事

日の出とともに本堂で始まる善光寺全山の僧侶が出仕して勤める厳かな法要。毎日欠かさず行われています。御開帳期間中の開始時期は通常と異なりますので、善光寺公式HPにてご確認ください。



お数珠頂戴

お朝事の導師を務める大勧進貫主、大本願上人が本堂を往復する際、参道にひざまずく参拝者の頭を数珠でなでて、功德を授けます。

善光寺七福神めぐり

善光寺表参道界隈にまつられている七福神をめぐって御朱印(各100円・善光寺200円)を集め、ご利益を願いましょう。



一 寿老人
(かるかや山西光寺)



二 大黒天
(大國主神社)



三 福祿寿
(西後町秋葉神社)



四 弁才天
(往生院)



五 布袋
(THE FUJIYA GOHONJIN)



六 恵比寿
(西宮神社)



七 毘沙門天
(善光寺世尊院釈迦堂)

■お問合せ／西宮神社 TEL.026-235-6633 ●御朱印が受けられる時間／8:00～16:00(専用色紙900円、各御朱印100円、善光寺御朱印200円)
●専用色紙は、かるかや山西光寺、西宮神社、善光寺世尊院釈迦堂、長野市観光情報センター(JR長野駅構内)で購入できます。



西方寺

かつて善光寺が火災に見舞われた際、西方寺に善光寺御本尊を遷し、仮本堂とされました。本堂外陣の天井にある天蓋は江戸時代に善光寺から下されたものです。
平成22(2010)年にはチベットのダライ・ラマ法王が来訪、阿弥陀仏説法像の開眼法要を行いました。

開門時間/7:00～17:00



セントラルスクエア

1998年の長野冬季五輪で表彰式会場となったこの場所は、現在は公園になっています。夜はライトアップされた噴水が楽しめます。
毎日18時～20時ライトアップ



十念寺

源頼朝の善光寺参拝の折、この地で阿弥陀如来が現れ、十遍の念仏を受けたことから、頼朝が「十念寺」と名付け建立したと伝えられています。地元で「出世大仏」と呼ばれる金色の阿弥陀仏座像も必見。



長野駅から善光寺までの表参道は約2km。
片道30分の道のりを
ゆっくりたどってみませんか。

ガイドと歩く善光寺表参道

知識豊富なボランティアガイドがまちなかをご案内します。人気No.1の「善光寺七福神めぐり」のほか、各種コースあり。
時間、内容のご相談にも応じますので、ガイドと一緒に歩いてみましょう!

TEL 026-225-9911

料金 1人1,000円、
2～9人 500円/人
中学生以下無料



かるかや山 西光寺

善光寺如来に導かれて高野山から信濃に下った沓道心が建立。「沓道心石童子御親子御給伝」の絵解きを聞くことができます。(予約優先)御開帳時は、善光寺の回向柱の残木から作られた記念木が建立されます。

開門時間/8時～17時



如是姫像

阿弥陀如来に重い病から命を救われたと伝わる如是姫。長野駅前から善光寺に向けて香華をかかげる像は、夕刻より光に彩られます。



お問合せ

ながの観光コンベンションビューロー
TEL.026-223-6050 FAX.026-223-5520
<https://www.nagano-cvb.or.jp/>



一茶の句碑



江戸時代の俳人・小林一茶は、信州柏原(現信濃町)生まれ。たびたび訪れた善光寺にちなんだ句も多数残しています。
善光寺表参道周辺には一茶の句碑が点在しています。

十八丁の丁石



表参道の一丁(約109m)ごとに置かれた丁石は、善光寺までの道しるべ。JR長野駅新幹線改札口には「十八丁」の丁石が設置されています。
※「一丁」「二丁」の丁石は善光寺境内のため、設置されていません。

善光寺から、春の寄り道

七年に一度の善光寺御開帳。

特別なご縁に出会ったあとは、春を感じるもうひとつの旅へ。

信州から広がる個性豊かなまちを巡り、

春の寄り道をお楽しみください。



周辺観光ガイドは
こちらから

05 千曲市

いつ来ても、旬がある。

開湯120年を超える戸倉上山田温泉は、信州屈指の「美肌の湯」として知られ、善光寺参りの精進落しの湯として親しまれた歴史もあります。

善光寺大本願別院 城泉山観音寺は、戸倉上山田温泉街の高台にあります。「一目十万本」と謳われる「あんずの里」は、3月下旬～4月上旬頃に可憐な薄桃色の花で一面覆われます。6月中旬頃に収穫時期を迎え、オレンジ色で甘酸っぱい貴重な生あんずを味わえます。

日本遺産「姨捨棚田」は、5月中旬～6月上旬に田植えの時期を迎えます。水を張った田に映る月が、歩みに合わせて田毎に移りゆく「田毎の月」はこの時期限定の景色です。

信州千曲観光局
TEL.026-261-0300
<https://chikuma-kanko.com/>



06 松本市

歴史・自然・工芸彩る松本

北アルプスを望む城下町・松本では、春から初夏にかけて多彩な魅力が広がります。国宝松本城や国宝旧開智学校では、歴史と文化に触れるひとときを。新緑が美しい上高地では、雄大な景色の中で自然散策を満喫！

5月には、街なかが工芸一色に染まる「工芸の五月」を開催。全国から300ほどの作家が集う「クラフトフェアまつもと」をはじめ、企画展やギャラリー展示も充実しています。

城下町らしい風情ある街並みを歩きながら、信州ならではの手仕事や食文化、風景を満喫できる春の松本へ、ぜひお出かけください。老舗喫茶や蔵造りの散策も人気です。

松本観光コンベンション協会
TEL.0263-60-8480
<https://visitmatsumoto.com>



07 大町市

北アルプス山麓 信濃大町

雄大な北アルプスの麓の大町市には仁科三湖と呼ばれる3つの湖があり、SUP・カヤックなどが楽しめます。青木湖では夏限定で幻想的なホテル観賞クルーズが体験できます。

大町市観光協会
TEL.0261-22-0190
<https://kanko-omachi.gr.jp/>

08 安曇野市

わさび&信州サーモン

北アルプスの雪解け水は里で清らかな湧水となり、わさびや信州サーモンを育みます。豊富な水量と安定した水温が生み出す自然の恵みを、心ゆくまでご賞味ください。

安曇野市観光協会
TEL.0263-82-3133
<https://www.azumino-e-tabi.net/>

09 諏訪地方

諏訪大社 四社巡り

諏訪大社は上社前宮と本宮、下社春宮と秋宮の四つからなる神社です。寅と申の年に宝殿の造営と社殿の四隅の御柱を建替える「式年造営御柱大祭」、通称「御柱祭」は令和十年春に開催されます。

諏訪地方観光連盟
TEL.0266-58-1123
<https://www.suwa-tourism.jp/>



10 伊那市

天下第一の桜、高遠城址

天下第一の桜の名所、高遠城址公園で庄巻の桜景色に包まれたら城下町へ。高遠石工の石仏群を訪ねたら、焼味噌と大根おろしで食べる名物行者そば・高遠そばに舌鼓。

伊那市観光協会
TEL.0265-96-8100
<https://inashi-kankoukyoukai.jp/>

11 駒ヶ根市

宝積山光前寺しだれ桜

早太郎伝説の伝わる宝積山光前寺。4月中旬、境内の約70本のしだれ桜が見頃を迎えます。見頃の時期にはライトアップも開催(予定)され、より一層彩を添えます。

駒ヶ根市観光案内所
TEL.0265-81-7700
<https://www.kankou-komagane.com/>

18 戸隠

令和九年戸隠神社式年大祭

霊山戸隠山の麓に鎮座し、「天岩戸開き神話」ゆかりの神々を祀る戸隠神社。神社最大の祭典「戸隠神社式年大祭」が4月25日(日)～5月25日(火)に斎行されます。

戸隠観光情報センター
TEL.026-254-2888
<https://togakushi-21.jp/>



19 信濃町

新緑きらめく高原のまち

ゴールデンウィークは、リュウキンカやコブシが咲き、残雪の黒姫山と新緑が美しい季節です。野尻湖には爽やかな春風が吹き抜け、カヌーやSUPなどのアクティビティもスタートします。

信州しなの町観光協会
TEL.026-255-3226
<https://www.shinano-machi.com/>

20 小川村

最も美しい村・小川村

全国的に有名な「おやき」が村内各所で食べることができます。旬の地元野菜が入ったおやきは格別！いろんな味の美味しいおやきと北アルプスの大パノラマ、満天の星たちがおもてなしします！

小川村観光協会
TEL.026-269-2323
<http://kankou.ogawamura.jp/>

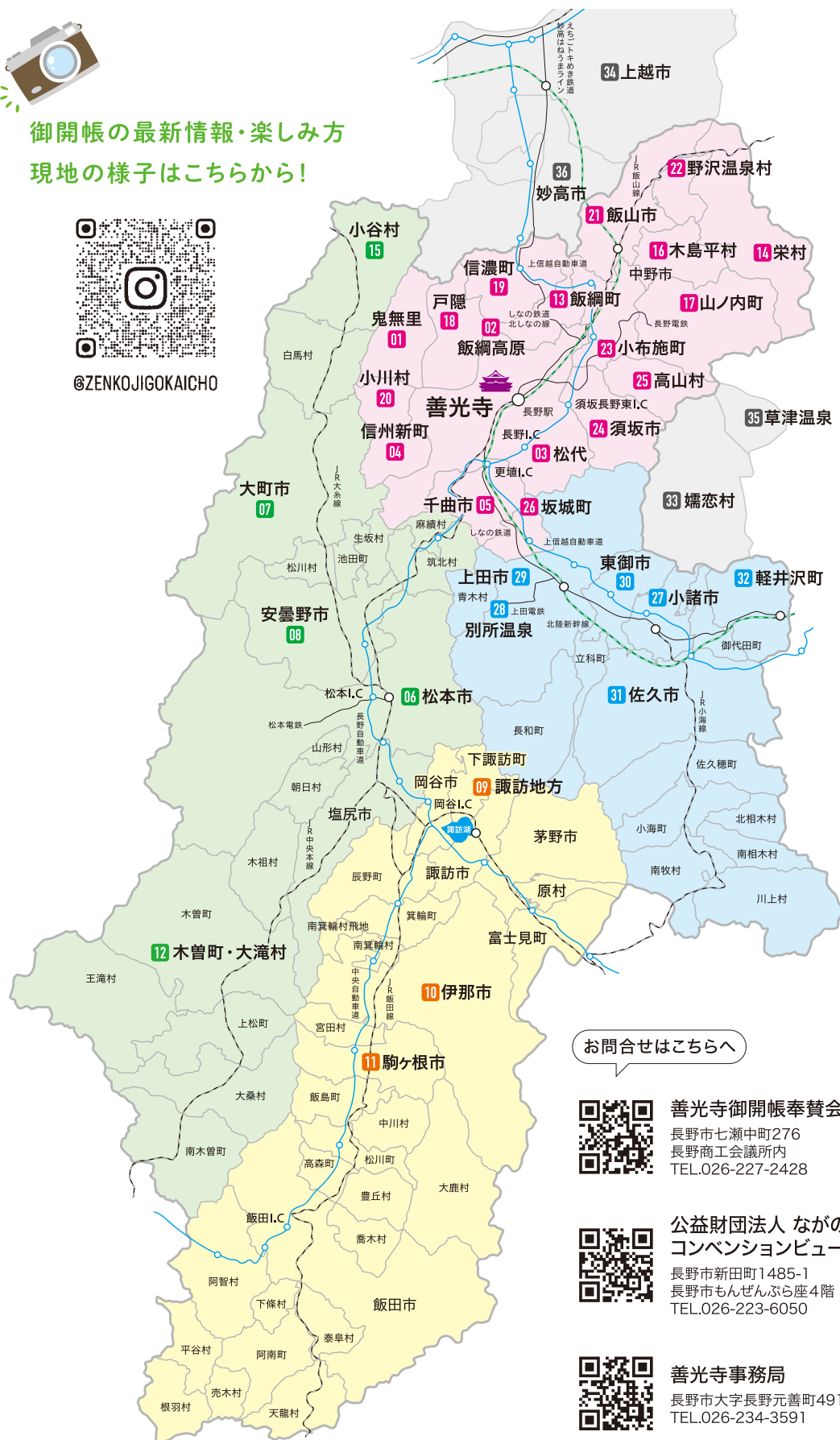


御開帳の最新情報・楽しみ方

現地の様子はこちらから！



@ZENKOJIGOKAICHO



お問い合わせはこちらへ



善光寺御開帳奉賛会

長野市七瀬中町276
長野商工会議所内
TEL.026-227-2428



公益財団法人 ながの観光
コンベンションビューロー

長野市新田町1485-1
長野市もんぜんぶら座4階
TEL.026-223-6050



善光寺事務局

長野市大字長野元善町491-イ
TEL.026-234-3591

21 飯山市

一面の菜の花が咲き誇る

4月下旬～5月上旬に咲き誇る菜の花。小高い丘に位置する菜の花公園は千曲川と残雪の関田山脈を望む絶景スポット。ほかにも道の駅周辺など市内各地で菜の花を楽しめます。

信越自然郷 飯山駅観光案内所
TEL.0269-62-7000
<https://www.iiyama-ouendan.net/>

22 野沢温泉村

外湯巡りと、湯上がりの美酒。

歴史ある13の外湯を巡ったあとは、世界が注目するクラフトジンやビールで喉を潤す。ノスタルジックな温泉街にモダンなバーやカフェが溶け込む、贅沢なご褒美の夜。

野沢温泉マウンテンリゾート観光局
TEL.0269-85-3155
<https://nozawakanko.jp/>

23 小布施町

栗と北斎と花の町

晩年小布施町を訪れた葛飾北斎は、岩松院の八方睨み鳳凰図や北斎館に展示されている浪図・男浪女浪などを描きました。名高い栗菓子、千曲川河川公園の八重桜並木 4kmも旅人を魅了します。

小布施文化観光協会
TEL.026-214-6300
<http://www.obusekanko.jp/>

24 須坂市

ノスタルジックな蔵の町

日本さくら名所100選の臥竜公園は池の周りに約160本、公園全体約600本の桜が咲き誇り、池に舞う花吹雪や夜桜は幻想的。重伝建の蔵のまち散策もお楽しみください。

信州須坂観光協会
TEL.026-215-2225
<https://www.suzaka-kankokyokai.jp/>

25 高山村

信州高山ワイン探訪

ワインブドウ栽培の盛んな高山村には、村産ブドウを醸造する個性豊かなワイナリーが複数存在しており、この機会にあなただけのとおきワインを探してみませんか。

信州高山村観光協会
TEL.026-242-1122
<https://shinshu-takayama-onsenkyo.com/>

28 別所温泉

春光あふれる、厄除けの里

春光あふれる信州最古の温泉地。今年は歴史的な節目が重なり、温泉街に二本の回向柱が立つ貴重な光景に出会えます。新緑の史跡巡りと極上の美肌の湯をお楽しみください。

別所温泉観光協会
TEL.0268-38-3510
<https://www.bessho-spa.jp/>

32 軽井沢町

標高1,000mの高原リゾート

軽井沢は、豊かな自然、美しい景観、歴史と文化が息づく高原リゾートです。四季折々の魅力と上質な滞在が楽しめます。4月下旬から6月初旬には「若葉まつり」と称して様々なイベントも行われます。ぜひおでかけください。

軽井沢観光協会
TEL.0267-41-3850
<https://karuizawa-kankokyokai.jp/>

34 上越市

歴史と自然に出会うまち

高田城址公園とその周辺では、毎年4月上旬に約4,000本の桜が咲き誇ります。ぼんぼりに照らされた姿は「日本三大夜桜」の一つに数えられており、ライトアップされた三重櫓やさくらロードは人気のフォトスポットです。夏には公園の外堀約19haを蓮の花が埋め尽くし、その規模と美しさは東洋一と称されます。園内の観蓮園では世界各種の蓮も観賞可能です。また、日本海側では珍しい遠浅の海と広い砂浜が広がる「なおえつ海水浴場」をはじめとする、水質の良い海水浴場でのレジャーもお楽しみいただけます。



29 上田市

歴史と自然、文化のまち

春は桜の名所としても知られる、真田氏ゆかりの上田城。周辺は歴史ある名湯や高原などの自然に抱かれ、名物の「美味だれ焼き鳥」や地酒などのグルメも充実しています。

信州上田観光協会
TEL.0268-71-6074
<https://ueda-kanko.or.jp/>

33 嬬恋村

秘境に咲く花々

2,000m級の山々に囲まれる嬬恋村は、まさに秘境。4月中旬には約300本の桜並木が満開になり、5月上旬～中旬には浅間高原シャクナゲ園まつりが開催されます。ぜひ一度お越しください。

嬬恋村観光案内所
TEL.0279-97-3721
<https://www.tsumagoi-kankou.jp/>



上越観光コンベンション協会
TEL.025-543-2777
<https://joetsukankonavi.jp/>

30 東御市

開宿400年の宿場町

海野宿は北国街道の宿場町で、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されており、江戸情緒あふれる歴史的な街並みと、ゆったりとした滞在型観光が楽しめます。

信州とうみ観光協会
TEL.0268-62-7701
<https://tomikan.jp/>

35 草津温泉

草津よいとこ一度はおいで

日本三名泉のひとつである草津温泉は、自然湧出量日本一を誇り、毎分32,300リットル以上もの温泉が湧き出しています。春になると、4月下旬頃から桜が咲き始め、5月中旬から下旬にかけてはシャクナゲやツツジが見頃を迎えます。新緑が芽吹く山々と色鮮やかな花々が織りなす景観は、この季節ならではの魅力です。豊富な温泉と豊かな自然に包まれながら、春の草津温泉で心安らぐひとときをお過ごしください。また、草津温泉のシンボルである湯畑では、日没から24時まで毎日ライトアップを実施しており、幻想的な夜の風景をお楽しみいただけます。



草津温泉観光協会
TEL.0279-88-0800
<https://www.kusatsu-onsen.ne.jp/>

01 鬼無里	ミズバショウ咲く鬼女紅葉伝説の里	鬼無里観光振興会	TEL.026-256-3188	https://kinasa.jp/
02 飯綱高原	木道を歩いて湿原散策	飯綱高原観光協会	TEL.026-239-3185	http://iizuna-navi.com/
03 松代	回向柱寄進のまち「松代」	信州松代観光協会	TEL.026-278-3366	https://www.matsushiro-kankou.com/
04 信州新町	アート&グルメの町	信州新町観光協会	TEL.026-262-2245	http://shin-machi.com/
12 木曽町・大滝村	御嶽山 古の浪漫漂う中山道	木曽おんたけ観光局	TEL.0264-25-6000	https://www.kankou-kiso.com/
13 飯綱町	一目五山と花の町いいづな	飯綱町観光協会	TEL.026-253-7788	https://1127.info/
14 栄村	春の栄村は山菜の宝庫	栄村秋山郷観光協会	TEL.0269-87-3333	http://sakae-akiyama.com/
15 小谷村	母池自然園と塩の道ハイク	小谷村観光連盟	TEL.0261-82-2233	https://info-otari.jp/
16 木島平村	美しいブナの原生林	木島平村観光振興局	TEL.0269-82-2800	https://kijimadaira.org/
17 山ノ内町	颯爽と高原をドライブ	山ノ内まちづくり観光局	TEL.0269-38-9191	https://www.info-yamanouchi.net/
26 坂城町	バラと日本刀のまち	ステキさかき観光協会	TEL.0268-75-6207	https://sakaki-kanko.com/
27 小諸市	布引伝説発祥の地・小諸	こもろ観光局	TEL.0267-22-1234	https://www.komoro-tour.jp/
36 妙高市	残雪と花 妙高の春	妙高高原観光案内所	TEL.0255-86-3911	https://myokotourism.jp/

● 有限会社いほは堂 長野市鬼無里1687-1 TEL.026-256-2033
● ホテルナガノアベニュー 長野市南千歳2-8-5 TEL.026-223-2147
● ホテルJALシティ長野 長野市問御所町1221 TEL.026-225-1131
● しなの鉄道株式会社 上田市常田1-3-39 TEL.0268-21-4701
● 東日本高速道路株式会社 関東支社 長野管理事務所 長野市松代町東寺尾字村北1195-2
● チサングランド長野 ● 日の丸タクシー ● アパホテル〈長野〉倉島事業開発株式会社 ● 旅館大橋 ● ホテル信濃路

